



条幅規定

成家 江川 悦子

骨力のあるゆつたりとした自然な運筆で、真面目な書作態度の窺える作品です。特に字間の余白が美しい。今後はあまり手本に捕われずに自己のリズムを持ち「成家」としての開眼を期待。

条幅随意

成家 細田 青秀

運腕大きく、落筆も高く、リズムに乗った楽しい作品です。二行目の大字と一行目の小字のバランスと漢字とかなの調和が今一步。今後の課題となるう。今が大成の好期。精進に期待。

条幅随意(臨書)

師範 山田 登之

孟敬訓墓誌銘の雰囲気をよく醸し出し、無理のない自然な用筆で、真面目な書作態度が窺える。この調子で現状に甘んじることなく、「成家」を目指し、精進してほしい。期待している。



半紙規定

成家塚 峰雪

無理のない正確な起筆に、
運筆の清澄さが加わり、美
しさの中にも存在感がある。
ほどよい緊張感が作品に生
命感を与えている。



半紙随意

師範 南土居光瑤

変化に富み、豊かな表現
力を感じる。鋒の開閉も自
然で、浮沈による潤濁も見
事、作品づくりの妙を感じ
る。白の研究が今後の課題
になろう。



半折1/2縦

師範正 黒岩 三溪

最近は、少し荒さが目につく
作品が多かった感があったが、
今回はリズムに抑揚もあり、自
然な墨量の変化と気脈、潤濁な
どが相俟って、作品に生命感が
あり秀作である。上を目指そう。



半紙随意(臨書)

師範 榎澤 美奈

孟敬訓墓誌銘にしては格
好良い感じを受けるが、線
が魅力的です。やゝ線の中
の空気が気になります。ゆ
ったりとした遅速の変化の
研究を。

秋の名月

聖玲

左右

理奈

はたけ

みのり

秋の名月

重井

流星

中一 神田 祐輔

左右

四年後 藤 寿来

光

えいろう

秋の名月

大空

挑戦

三年 莉子

もみじ

古川 奈津子

光

三年 吉之元 萌衣

いね

まついさら

学生部条幅 (1/4)

小六 五段 重井 大空

すつきりとした伸びのある線です。明らかに、丁寧に書いています。さらには上の段位を目指してこれからの頑張ってください。期待大!

黒松みのり

小二 5級

みのりさんの元気が紙いっぱいにあふれていて、見ていてとても気持ちのよいさくひんです。これからがんばってね。

田中瑛一朗

小三 準初段

字の形に気をつけて、しっかりと書いた筆づかいで、よく練習のできた作品です。名前まで気をぬかず、ていねいに書いています。

磯田 理奈

小四 準二段

お手本の細かなところまでよく観察して、形良くどうしようと書いています。線も力強さがあり、とても良い作品です。

後藤 寿来

小四 準初段

本文・名前ともにしつかりと練習のできた明るく伸びやかな作品です。き本の筆づかいが見ごとです。これからがんばってね。

渡邊 聖玲

小六 準六段

「秋」と「名」のバランスが難しい課題でしたが、名前までしっかりと形良く書いています。さすが上位有段者の作品です。

神田 祐輔

中一 準特待生

線に厚みと深みがあり、精気に満ちた完成度の高い作品です。名前もよく練習したあとが見えます。特待生を目指し頑張ってください。

まついさら 小一 4級

大きくうでをうごかして、どうどくとかけています。なまえもしつかりとれんしゅうのできたりっぱなさくひんです。

吉之元萌衣

小三 準4級

やわらかな線です。いねいに、そしてびやかに書いています。名前も漢字でよく練習ができています。これからは楽しんで書きます。

古川奈津子

小五 準四段

漢字と平仮名のバランスに気をつけて名前まで丁寧に書いています。終筆に気をつけるとさらに良くなります。がんばって!

阿部 莉子

中二・三 特待生

リズムに乗ってよく筆が動き、生命感あふれる伸びやかな作品です。今後は名前前の練習にも力を入れ、完成度を高めてほしい。

硬筆部最優秀作品

(9月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

ハンカチ ちりが
み わすれずに、
ズボンの ポケッ
トに いれました。
にしおか せら

山野さんたちの発表メ
モや相談の様子をさん
考に、行事のせつめいを
考え本番にのぞみます。
山本乃暖

残雪は、油断なく地上を見下ろ
しながら、群れを率いてやって
来ました。そして、ふと、いつも
のえさ場に、昨日までなかった
小さな小屋をみとめました。
土井彩加

あの事故以来、フランクリン通りを
歩いたことはなかったし、坂を下り
たこともなかった。うん、ゆっくり坂
道を角まで下りて、また少し上って、
学校の前を通って、家に帰ろう。
安川博輝

しぜんの中では、
どうぶつたちは、
弱っているすがた
を見せません。
いいてがみあんな

人間のちえは、人々の心を
結び、便利な道具や方法を
考え出し、多くの人による
こびをもたらずでしょう。
田中彩未

兄さんの中には、その右側の四本
の足の中の二本を、弟の平べっ
たい頭にのせながら言いました。
「分らない。魚がまたつうとも
どって、下の方へ行きました。」
新井希梨

九月に入り、博輝さん、山本さん
と、博輝さん、山本さん、山本さん
が、十日に始まりました。敬喜は生命を奪ひ
海山の幸に感謝を捧げ、場ありの町の秋の
防れを告げ、参ります。
「カネポンと呼ばれ、ビードロや、花をほしく
とう、縁起物のおぼしき葉付の新しうが
がよく知られ、考道には露店が並びます。
連休を利用して、お掛けしてみませんか。
由紀子

山野さんたちの発表メ
モや相談の様子をさん
考に、行事のせつめいを
考え本番にのぞみます。
入江真奈美

人間のちえは、人々の心を
結び、便利な道具や方法を
考え出し、多くの人による
こびをもたらずでしょう。
小河原ゆうな

あの事故以来、フランクリン通りを
歩いたことはなかったし、坂を下り
たこともなかった。うん、ゆっくり坂
道を角まで下りて、また少し上って、
学校の前を通って、家に帰ろう。
河野 凜

いまや情報はあふれ、手早く解答を
得られる時代、不思議への感性が乾い
て、疑問そのものが減りつつある。朝永
振一郎は、教師の役目を、生徒を知識
で満足させない、ことだと言、残した。
池田和子

にしおかせら
小一 6級
ひらがなもカタ
カナも、おてほん
をよくみてげん
きよく、しつかり
とかけています。
なまえも、もう
すこしげんきよ
くかきましよう。
山本 乃暖
小三 3級
あたたか味のあ
るやさしい線、
あかるくすつき
りとした作品で
す。これからは、
漢字よりも少し
平がなを小さく
書きましよう。
田中 彩未
小四 初段
力のこもった強
い線、ペンを使
って、しつかりと
書いています。
さらに上の段位
を目指し、がん
ばって下さい。
入江真奈美
小三 準1級
むずかしい漢字
もバランスよく、
字の形も良く整
って、りつ
ばです。一生け
ん命に練習した
様子、作品にで
ています。

人間のちえは、人々の心を
結び、便利な道具や方法を
考え出し、多くの人による
こびをもたらずでしょう。
小河原ゆうな
小四 1級
二行目の下部が
おしかったので
すが、温か味あ
る線にみ力のあ
る明るい作品で
す。今後の優奈
さんにさらに期
待しています。

あの事故以来、フランクリン通りを
歩いたことはなかったし、坂を下り
たこともなかった。うん、ゆっくり坂
道を角まで下りて、また少し上って、
学校の前を通って、家に帰ろう。
河野 凜
中学 準特待生
漢字と平仮名の
バランスが良く、
伸びやかな線、
形良く書いてい
ます。今後は行の
中心に気をつけ
て、「特待生」を
目指して下さい。

いまや情報はあふれ、手早く解答を
得られる時代、不思議への感性が乾い
て、疑問そのものが減りつつある。朝永
振一郎は、教師の役目を、生徒を知識
で満足させない、ことだと言、残した。
池田和子
一般 師範
書き始めから名
前まで神経的行
き届いた快作で
す。お手本に捕
らわれず、自己
のリズムで書か
れ、品格の高さ
を感じます。